【米田主宰の俳句】

春を彩る

米田規子

きさらぎや岬の白いレストラン

まずクロッカスが咲いて彼と彼女

春を彩るかまくら野菜アトリエに

美術館出てひとごえと春落葉

はくれんの大きな蕾明日の空

時短にてハッシュドビーフ木の芽雨

ひとりきりの夜の片隅フリージア

おぼろから生まれスマホの文字の数

逃げてゆく時間のしっぽぺんぺん草

今日を生きあしたのいのち花三分